

- 1 日 時 令和3年1月〇日 (〇)
- 2 学 年・学 級 2年〇組
- 3 主題名 強く気高く生きる
- 4 内容項目 人間の強さと気高さ、よりよく生きる喜び【D- (22)】
- 5 教材名 「足袋の季節」(出典：『中学校道徳 明日を生きる2』)
- 6 準備物 教科書、ワークシート、足袋、かご、パワーポイント、板書用貼物資料
- 7 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

私たち人間は、決して完全なものではない。誰の心の中にも、それぞれ弱さや醜さがある。様々な誘惑に負け、自分を律することができず、都合の良い生き方や自分中心の行動をしてしまったり、しなければならぬと思いつつも怠けてしまったりすることが往々にしてある。

しかし同時に、私たち人間は、自分の弱さや醜さに対して、悩み、後悔し、呵責に耐えきれない自分の存在を深く意識するなど、弱さや醜さを克服したいという思いや願いをもっている。そして、「このままではだめだ」「これからはもっとよりよく生きよう」などと、自分の弱さや醜さを自戒し、生きる目標をもつ。これは、人間のもつ強さや気高さの表れである。そしてその中で私たちは、自分に誇りをもって生きる喜びや人間の行為の美しさに気付くことができるのである。

本教材では、この後悔を自分の人生に生かし、他者への償いの心にまで高めてきた「私」の真摯な生き方に深く共感させたい。

(2) 生徒の実態

(略)

(3) 指導にあたって

本教材は、若き日に釣り銭をごまかしたことによる罪悪感に苦しみ続けた「私」が、おばあさんとの再会が叶わないものの、自身の弱さを乗り越え、人間として誇りをもって懸命に生きていくという内容である。この教材を通して、人には失敗した後にもそれを克服しようとする強さがあることに気づかせたい。指導にあたっては、まず、主人公がどのような気持ちを抱えておばあさんに会いに行ったのか、役割演技をさせることで言葉にして表現させたい。次に、おばあさんとの出会いによって主人公の中に生まれた「心」について考えさせることを通して、後悔を糧に自分のうちにある弱さを克服しようとする努力し続ける主人公の姿から、人間としての誇りをもち気高く生きようとする前向きな態度を育てたい。

## 8 本時のねらい

主人公の、心の中にある弱さを克服しようとする生き方について議論する活動を通して、人間としての誇りをもって生きようとする前向きな態度を育てる。

## 9 指導過程

		主な学習活動・発問・生徒の反応	指導上の留意点・評価
導入	0	1. 自分の心の弱さに負けてしまう、身近な場面について想起させる。	○作者が置かれていた状況や時代背景についてパワーポイントを用いて提示する。
	3	2. 資料P. 169 L. 3 までを読み、「足袋の季節」の時代背景をつかむ。 ・足袋（実物）・当時のお金の価値・小樽市の写真	
展開	5 8	3. 資料の最後までを読み、主人公の気持ちについて考える。  発問①お釣りをごまかしてしまった時に、「私」にはどんな気持ちが浮かんでいたのでしょうか。  ・これで足袋が買える。 ・「踏ん張りなさいよ」と言われたから、これは励ましの意味のお金だ。 ・本当はきちんと返さなければいけない。 ・このままらってしまうのは後ろめたい。	○いろいろな意見が生徒から出るよう工夫する。  ○机間指導で意見をよく見しておく。  ○「なぜ“今”会いに行くの？」と必要に応じて切り返す。  ○役割演技前の場面設定を丁寧に行い、雰囲気を作る。 ○他の生徒から、役割演技をした生徒への質問があれば聞く。 ○長年抱えていた罪悪感から解放されることはないという現実を突きつけられた「私」の絶望感に気づく。
	11	発問②「私」はおばあさんになぜ会いに行こうと思ったのでしょうか。  ○ワークシートに記入させる。 ・謝りたかったから。 ・おばあさんのおかげで頑張ってもらえたから。お礼を言いたい。 ○【切り返し】「なぜ“今”会いに行くの？」 ・自分で稼いだお金。・ようやく胸を張れる。・はじめ。	
	15	4. 役割演技をしながら主人公の気持ちについて考える。  発問③「私」がもしおばあさんに会えたらどんな会話をしたのでしょうか。  ○1ペアに全体の前で役割演技をさせ、感想を聞く。 ・勇気を出して謝れた。スッキリした。 ○他の生徒にも、自分ならどんな会話をするか聞く。 ○実際にはおばあさんに会えなかったということは、つまりどういうこと？ ・二度と謝れない ・二度と許してもらえない ・罪悪感から解放されるどころか、さらに大きな罪悪感を抱えることになった ・もっと早く会いに行かなかったことに後悔が残る	
	25	5.  発問④おばあさんとの出会いで「私」の中にどんな心が生まれたのでしょうか。  ・上手いいかないときでも、くじけない心。 ・辛さから逃げない心。 ・同じような後悔をしないように正直に生きようとする心。	
	40	6. 主人公の生き方から感じたことをワークシートに記入させ、数名に発表させる。 ・失敗をしてしまった時に、すぐにあきらめるのではなく、次にどうしたらいいのか考えたい。 ・少しのごまかしが自分をずっと責めることになるのなら正直でいたい。	○自分の心の中にある弱さに打ち勝とうとする主人公の生き方を考えさせる。  ○挙手がなければ指名。
終末	45	7. 教師の説話	

○お釣りをごまかしてしまった時に、

どんな気持ちで浮かんでいた？

足袋が買える

間違えたのは相手

場面絵

罪悪感 申し訳ない  
金を取った だました

1. なぜおばあさんに会いに行こうとした？

会えたなら

会えなかった

死

罪悪感からの  
解放

もう二度と謝れない  
さらに大きな罪悪感  
後悔が残る

2. おばあさんとの出会いで「私」の中に

どんな心が生まれた？

- ・ 上手くいかないときでも、くじけない心。
- ・ 辛さから逃げない心。
- ・ 同じような後悔をしないように  
正直に生きようとする心。

3. 今日の授業を通して、

「私」の生き方から感じたこと

- ・ 失敗しても次にどうすればいいか考える。
- ・ 正直でいたい。